



さわやかに しなやかに

~ SEISHO PRIDE ~



(青翔中学校 HP)

【自立】さわやか挨拶・自ら進んで学習
【貢献】活力ある生徒会活動・いじめ根絶
【創造】響き合う合唱・成長し合える仲間

やさしい手



とても素敵な絵だと思いませんか。
共生社会の実現に向け、内閣府は障
がいへの理解を深めることを目的に、
毎年「出会い、ふれあい、心の輪」を
発刊しています。全国から応募された
「心の輪を広げる体験作文」と「障が
い者週間のポスター」の入賞作品が収
められています。

この絵は、中学生の部で今年度最優
秀賞(内閣総理大臣表彰)に選出され
た「やさしい手」という作品です。千
葉市の●●●中学校2年△△△△
さんが、「障がいの有無も年齢も関係
なくお互いに認め合えるようにして

いきたい」と思い描いたそうです。
「すぐに仲良くなれではなく、徐々
にお互いを知ってくイメージの構
図」とのこと。

二人の間で、どんな会話が交わさ
れ、思いを共有しているのか。多く
のことを考えさせられ、大切なこと
に気付かされます。

□ ■ □

ふれ合う手と手。ぬくもりや温か
さを通して、私たちは「何か」を確
認し安心を得ています。「何か」：上
手い表現が見つかりませんが、きつ
と「愛」という言葉が一番しっくり
くるような気がします。

ここでいう「愛」とは、思いやり
や理解、大切にするという意味です。
人は(人だけに限られません)思
いやりを受け、理解され、大切にさ
れ、そのままの自分を受け入れても
らえることで安心し、自分らしく生
きていくことができます。安心して
思いを自分の言葉で表現し、困った
ときは素直に助けてと言えるよう
になります。そして、少し自分の心
に余裕が生まれると、相手にやさし

く手を差し伸べることができ
るようになり、その手と触れ合
うことで他の誰かがまた安心
を得ることが出来ます。

「D&I(ダイバーシティ&
インクルージョン)」―多様性
を包摂する、などという小難
しく感じてしまいましたが、要は
こんな思いの循環なのではな
いでしょうか。違いを理解し、
そのままの相手を認め、困って
いたら助けてあげる。

こんな人になりたいし、こん
な社会をつくっていきたい。そ
れに貢献できる青翔中学校で
ありたいと考えています。

□ ■ □

今年度も教育活動推進にた
くさんの御理解と御協力を賜
りました。記して御礼申し上げます。
結びにあたりお伝えいたし
ます。13人の教職員が異動・退
職となります。これまでの御支
援に、深く感謝申し上げます
(氏名は2面に掲載)。

□ 3月12日（火）送別集会

生徒会執行部が主体となって、卒業証書授与式に先立ち、在校生が3年生の卒業を祝い、青翔中を引き継ぐ決意を表すための送別集会が開催されました。2年生・1年生からは3年生に対し、それぞれ合唱が披露されました。当日は、学級閉鎖のため学校祭の有志発表に参加できなかった生徒の発表機会が設けられ、粋な計らいもありました。

□ 3月14日（木）第15回卒業証書授与式

門出を祝福するような春の陽光が差し込む中、卒業証書授与式を挙行了しました。式の最後には、卒業生による中学校生活最後の発表となる合唱『旅立ちの日』が披露されました。239名が巣立っていきました。



<表彰記録>

○第41回苫小牧市冬休み読書感想文コンクール △△△△：中学生の部優秀賞

「出会いは偶然、別れは必然」と言います。保護者・地域の皆様からお世話になった以下の教職員がこの春の人事異動で青翔中学校を離れることとなりました。離任者に対するこれまでのご支援・ご協力に感謝いたします。

- | | | | |
|-------|------------------|----------------------------------|-------------------|
| 鏡 武志 | 校長（和光中学校校長へ） | 池田 吉三 | 教諭（退職） |
| 佐藤 通隆 | 教頭（植苗小中学校校長へ） | 大西 政行 | 教諭（退職） |
| 柏木 晶子 | 教諭（苫小牧東中学校へ） | 門田 雅彦 | 教諭（退職） |
| 児島 芳之 | 教諭（ウトナイ中学校教頭へ） | 山中 良一 | 教諭（退職） |
| 只野 浩太 | 教諭（石狩教育局社会教育主事へ） | 五十嵐昭広 | 初任者指導担当教諭（泉野小学校へ） |
| 柳 幹久 | 教諭（室蘭市立桜蘭中学校へ） | 今井 一憲 | 講師（光洋中学校へ） |
| 小山 美穂 | 養護教諭（退職） | ～離任される皆さんのこれまでの青翔中への貢献に感謝いたします。～ | |

※大西政行教諭については、新年度から部活動指導員の立場で、本校の教育活動を支援していただく予定です。



令和6年度の青翔中学校の教育活動について

令和6年度青翔中学校の教育活動の基本的な方向性

当事者意識<自己決定と参画(他者の権利の尊重と対話力)>

■■会社を倒産させた私への母の一言■■

「あんたはみんなにお金を用立ててもらって、やすやすと会社をつかった。やすやすとできたものに愛情などもてるわけがない。母親が子どもを産むには、死ぬほどの苦しみがある。だから、子どもが可愛いのだ。あんたは逆子で、私を一番苦しめた。だから、あんたが一番可愛い」～実業家奥野博さんの言葉～

人は与えられ続けると、努力を怠り、大切なことを見失います。当事者意識にかけるからです。令和6年度の青翔中では、生徒の「自主性・主体性・ウェルビーイングの向上」を図るため、自己決定と他者との関わりを意識させる取組をより一層重視していきます。

令和6年度 主な行事の予定

- ◆4月 4日（木）学級発表
 - ◆4月 8日（月）着任式/始業式
 - ◆4月 9日（火）第16回入学式
※2・3年生は午前授業（11:00下校予定）
 - ◆4月10日（水）給食開始
 - ◆4月22日（月）3年参観日
 - ◆4月23日（火）2年参観日
 - ◆4月25日（木）1年・10組参観日
PTA総会
 - ◆5月30日（木）体育大会
 - ◆9月19日（木）学校祭
 - ◆3月14日（金）卒業証書授与式
- 注：変更になる場合があります。

～悩みは一人で抱え込まない～

春休み中でも気になることがあれば学校へ。右の相談窓口を利用することも可能です。



■子ども相談支援センターHP→
(0120-3882-56)

←■ほっかいどうこどもライン相談HP

